

平成29年3月定例会、10名の議員が一般質問に立つ (文責は、いずれも本人)

●まち協 第2ステージに向けて ●農業集落排水加入補助の復活を



近藤 芳人議員

まちづくり協議会(以後「まち協」と表記)について以下の事を質す。①かつて「ふるさと納税の使い途として各まち協を選択肢に加える」とを提案し「まち協が全部揃う時に検討する」という答弁だった。30年度に実施できるか?

②まち協共通の目的はあるか?

③事務所を公共施設に間借りできないまち協には一定補助すべし。

④4月から各支所1名を本庁集約しまち協の支援に充てると聞く。過去に公営住宅担当を本庁に集約し入居抽選会場が遠くなったり、税務申告会場統合により不便を期している。検証が見えてこない。

答 市長 ①効果は認めるので協議したい。

答 総務部長 ②地域特性があるので設けない。

③おっしゃる通りに整備が必要。

④本庁中心とするが、これまで通り支所にも関わってもらおう。

②人口維持を共通の努力目標とすべし。地域レベルに目標数値を落とさない。市民は「ピンとこない」。

答 市長 ②創意工夫で笑顔あふれを作っていたきたい。

②好きなことだけやっていい。地域の深刻な課題は置き去り。

答 総務部長 ②いい事例は情報共有したい。

御崎地区農業集落排水の下水道設置補助は町全体の下水道化構想のもと、平成14年度に制度化された。構想が改められたため単打ち切られた。ちなみに現在 合併浄化槽設置補助額より低額。

御崎地区は今も「下水道」域であるため合併浄化槽補けられない。利用料を値上げし設置補助を復活すべきだ。

答 市長 新しい補助を制度化して、後からすればよかったという不公平感が生じる懸念もある。

●バリアフリーのまちづくり計画が必要 ●子育て住宅の建設を ●玄海原発再稼働 市民の安全確保が最優先



大久保堅太議員

市は、生活と観光の玄関である平 口駅ですら車椅子で乗り降できない。面的なバリアフリーづくりが必要であり、バリアフリー計画を策定するべきではないか。

答 市長 関係団体に呼びかけ公社組織のバリアフリー計画策定も視に けて検討していきたい。

の総合計画の中で、繁殖雌の目標頭数と現状に乖離がある、マストレーションの建増し 必要はないか。

答 市長 増設の申し出があれば、雇用確保と増頭対策としてできることは手伝っていききたい。

いま若い世代の世帯は、アパートや借家を探せずに市外に出てしま

うケースも少なくない、民間活用による補助式の子育て世代専用住宅の建設促進ができないか。

答 総務部長 若者の定住を促進していく立場から、実現可能かどうかも含めて関係各課と内容を検討する。

玄海原発は、今年にも稼働を目指しているが、万が一の事が起きた時、要配慮者、離島を含めた市民の安全は確保できているのか。

答 総務部長 住民避難や誘導訓練、航空機による人員輸送等の訓練の中で、課題も指摘されている。

原発から30キロ圏内にある平戸市の市民の安全を守る市長・行政の立場として、緊急時の市民の安全が確保できない限り稼働は反対の立場をとるべきではないか。

答 市長 そのような不安は全て国の責任、県の責任である。避難の交通手段確保など強く申しいたい。

3月定例会の審議議案等一覧 (賛否が分かれた案件のみを掲載)

Table with columns for 議員氏名 (議席番号順), 採決結果, 賛成, 反対, and 議員氏名 (議席番号順) for various bills.

○は賛成 ●は反対 議長は可否同数の時以外、採決に加わらない。 ※その他の上程された議案については、議員の全員賛成で可決。

調査、研修を 市政に 活かす !!

平成28年度 政務活動報告

政務活動費とは、市政に関する調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、会派に対し所属議員数に応じて交付されるものです。(1人あたり年額12万円) 全ての報告は、議会事務局にて閲覧できます。

Table with columns: 会派名, 研修者氏名, 研修・調査内容, 研修地・開催地. Lists various training and research activities.